

だい、でん

今月号は「基本健診に行こう！」です。

保健福祉課
住民生活課



「けんしん」を漢字で書くと「健診」や「検診」となります。辞書で検索してみると、「健診」は健康診断（診査）の略で、定期的に疾病の有無、体格・身体の栄養・発育状況などを診断することとなっています。また「検診」は病気にかかっているかどうかを調べるために診察・検査を行うこととなっています。つまり「けんしん」は健康かどうか調べることです。

今月、みなさんのお手元に各種検診申込書が配布されますので、たくさんの方が申込みくださるようお願いします。

基本健診を受けましょう

基本健診は、国民健康保険・後期高齢医療加入者・生活保護受給者の方が対象となります。

検査では、身長・体重・腹囲・血圧・採血等が行われ、糖尿病や高血圧、脂質異常症といった症状が悪化してから自覚症状が出ることが多い生活習慣病を早期発見し、重症化を防ぐことにもつながります。

また、50歳以上の男性が対象のPSA検査（前立腺がん検査）や昨年度から基本健診と同じ日に実施する大腸がん検査では、がんや異常が見られた方が早期発見することができ、喜ばれる声を聞くことができました。昨年度のPSA検査では、受診者の約1割に異常が見られ、治療を開始された方が20名程見受けられています。自分の健康状態を確認でき、早期発見により医療費の抑制にもなります。年1回は健診を受けましょう。

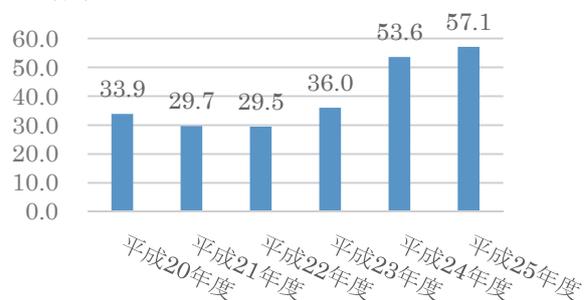
● 国民健康保険加入者の受診率

国保加入者の受診率は、国の目標が60%と定められています。

錦江町では、自治会長さんをはじめ町民皆様のご協力で平成25年度は受診率57.1%となりました。

目標達成のため今後ともご協力をお願いします。（受診率には、基本健診、人間ドック、個別健診、情報提供、職場健診が含まれます。）

(%) 国保受診率



～ 事例・Aさん（70歳代・男性）の場合～

仕事が忙しく、今まで健診を受けることがなかったAさん。

最近、身体に疲労感が残るので初めて健診を受けることにしました。検査の結果、数値に異常が見られ病院で検査したところ、がんが発見されました。幸いにも早期のため手術することもなく投薬治療ですみました。

仕事ができるよう健康であることの重要さに気づき、現在は毎年健診を受け、異常なく元気に生活されています。

こぼれ話

健診を担当している自分は、年1回人間ドックに行っています。面倒くさがりなため、受診当日は早く終わらないかなどか思ったり、大腸カメラのため下剤を飲むときは来なければよかったと後悔もします。ですが、365日中のたった1日です。毎年受診することによって得られる安心感や結果を見る楽しみもあります。自分の健康管理は自分でしましょう。